

第一期の方針は、全般的に宣伝に至り、南曹四ツ水方面の組織運動、日本橋コルク工支部、汐留運輸工支部、品川コルク工支部、板橋支部、金剛コルク工支部等は、その直轄の収獲であった。

第二期戦は、十二月二十四日、理事會、大定方針なる新運動方針に従って、各地區聯合會の充實を計ることに主力を置き、之に必要なる部會を設け、單議等も區聯合會で承認の上開始する事になつた。

第三期は、本年二月下旬より今日に至る、其の具體的方針は、目的工場に直接組織の集約的努力を排し、先づ、八區支區聯合會先鞭に着手し、現在支部會式續々として行われに至つた。第三期戦の第一方針

第一、第三、第四、品川大崎方面は、請直、済み既に準備、そのいた。

四

品川第一支部
品川第二支部
品川第三支部
品川第四支部
品川第五支部
品川第六支部
品川第七支部
品川第八支部
品川第九支部
品川第十支部

- (12) 総合支部
 - (13) 砂所製紙第一支部
 - (14) 大崎第一支部
 - (15) 澁谷第一支部
 - (16) 砂所瓦斯工支部
- 以上十六支部は達した
- 昨年度大会後消滅せる支部は
- (1) 科田コンクリート支部
 - (2) 鹿戸司厨支部
 - (3) 品川煉瓦工支部
 - (4) 品川白煉瓦湯本支部
 - (5) 深川支部
 - (6) 芝浦コンクリート支部
 - (7) 本所第二支部
 - (8) 葉鴨第一支部
 - (9) 大島鉛筆工支部

(10) 鹿戸支部
(11) 城西織維支部
(12) 板橋支部

以上の十二支部である。

組合員總数の増減率は、大体大差なく、最近は漸く上昇の機に向いつ、ある。

五

宗派分裂主義者の策動は、昨年八月、九月に亘り、深川支部と城西織維工支部に起れり。外は何らの変化はなし。深川支部は、清信君が急先鋒となり、組織をなす。今支部を混乱に陥れ入札、遂に十一月五日の理事會に於て除籍處分に附した。城西織維工支部亦深川支部の宣伝に乗せられ、且つ今相違の策動ありて止まず。理事會の要求條件拒否の態度鮮明せしめた。一月二十七日除籍處